

第 6 回町田市長期計画審議会 委員からの意見と対応の方向

1 (仮称) まちづくり基本目標について

■政策 1

番号	委員	意見	対応の方向
長期計画審議会			
1	桜本	「施策実現によってなりたい姿」の4行目、「子ども・子育ての支援」のところを“妊娠・出産から子育ての支援”と変えたらどうか。	妊娠中のサポートも取組の中に入れていますが、ここでは子ども自身への支援もあることを伝えたいため、このような表現・表記でお示しさせていただきました。
2	三輪	2つ目の「子育てと仕事との両立を支援する」に関して、女性の就業率だけの指標に違和感。本来は男女共同参画とか働き方みたいなことも社会全体でということになると、そういうニュアンスも入ってくるべきと思う。担当部にそういう部署も入りつつ、指標やなりたい姿のところにワークライフバランスといったキーワードが入った方がいいと思うが、いかがか。	(2～4について) ご意見のとおり男女平等参画の社会で「女性の就業率」を指標とすることはふさわしくありません。保育を必要とする人に必要な保育を提供できることが目指す姿であるため、「女性の就業率」は指標から削除し、「3歳児未満の保育サービスの提供率」を指標に加えます。
3	会長	指標なので、男女別の就業率に変えることでよろしいか。	
4	三輪	せめて、そのような感じで。指標としては色々出てくると思うが、女性に限定しない方がいいのではないかと思っている。	
5	小林	指標は、長期計画で新しいものになる可能性あるか。	可能性はあると考えます。
6	小林	施策1-1と1-2は、環境の中の一つに両立の支援が入ってくると思うが、あえて1-2に置くところをどう捉えるか。この先10年の長期スパンを考えると、単に両立を支援するだけでいいのかを考えると、男性の就業率や女性の就業率、あるいは仕事を両立させていることをどのようにしてくることを支援するのか、将来を見据えたものが入ってくるのが大事では。ちょっとこれだと弱いのではないかとの印象を持った。	(6～9について) 子育てと仕事との両立の支援だけでなく、保育を必要としている子育て家庭が、希望の保育サービスを受けられることを「施策実現によってなりたい姿」に加えます。また、施策名を「多様な保育サービスの提供」とし、その実現によって「仕事との両立」と「希望の保育サービスを受けられる」というなりたい姿を目指すかたちに修正します。

7	三輪	<p>「各施策の中で実施していく取組例」の「保育サービスの充実」に違和感がある。これから充実していけば減っていく可能性もある中で、その後どうするかという話になっていくときに、サービスとして提供していくよりは、子どもの育ちにとって群れる環境づくりも大事だという発想も持ってもらいたい。指標として待機児童数や女性の就業率のような考え方を、なりたいたい姿のところでフォローしていくような書き方になっていないと、長期の先に何を見据えるのか、うまくキャッチアップできないと思うので、部署とも検討していただきたい。</p>	
8	会長	<p>施策1-2と指標をもう少し具体的な案を含めて追加することでいいか。</p>	
9	三輪	<p>小林委員との話を含めると、施策1-1と1-2のうまくミックスさせた整理があってもいいかと思う。方針としては理解している。</p>	
<p>審議会後の追加意見</p>			
10	三輪	<p>①市議からの意見で、女性の就業率が上がると出生率が下がる、というのは短絡的な意見である。「出生率」に着眼するならば、町田市に定住し2人目を産みたいと思わせるまち、となるべきであり、そのためには、多様な働き方、多様な預かり方（社会的サポート）が大前提になるため、その前提での基本構想・基本計画となるべきと考える。</p> <p>②「1赤ちゃんに選ばれるまちになる」「2未来を生きる力を育み合うまちになる」って、いずれも、こどもの主体性を想像させるすてきなキャッチだと思っています。ただそのイメージと、施策名や施策があまりにも従来の並びになっているのが気になります。</p> <p>③施策1-2には、上記市議からの意見に返したようななりたいたい姿を入れてもらう</p>	<p>①多様な働き方、多様な預かり方が大前提となる考え方を踏まえ、1-2の取組名を検討します。</p> <p>②まちづくり基本目標全体での統一感を意識して、このような表現・表記でお示しさせていただきました。</p> <p>③ご意見を踏まえ、施策実現によりなりたいたい姿に子育てと仕事の両立ができていない状態をお示しします。</p> <p>④ご意見を踏まえ施策名を修正します。</p>

		<p>のがよいかと思います。</p> <p>④施策2-1や2-4のいずれかには、ぜひ「こどもの主体性を育む社会づくり」といった観点を強調して入れてほしいです。</p>	
1 1	小林	<p>①(施策1-1「各施策の中で実施していく取組例」に関して)「子育て世代包括支援センターによる支援の拡充と保幼小との連携によるスムーズな就学移行の実現」追加。</p> <p>②(施策1-2「施策名」に関して)子育てと仕事との両立を支援し、家族の生活の質を高める or 子育て力を高める。</p> <p>③(施策1-2「指標」に関して)「・WLBの数値化、育休取得率(男女)」追加。</p> <p>④(施策1-2「施策実現によってなりたい姿」に関して)・子育てと仕事の両立ができ、「WLBが保てることで、充実した子育てや仕事ができる。」追加。</p> <p>⑤(施策1-2「各施策の中で実施していく取組例」に関して)「待機児童解消に向けた保育施設整備や多様な働き方に対応した保育サービスの充実など。<u>市内にある企業等との連携による多様な働き方の実現。</u>」下線部追加。</p>	<p>①ご意見の内容は取組の中に含んでいますが、まちづくり基本目標全体での統一感を意識して、このような表現・表記でお示しさせていただきました。</p> <p>②No.6のとおり</p> <p>③WLBの数値化や育休取得率(男女)を把握することができないため、1-2の指標への追加は難しいと考えられます。</p> <p>④WLBが保てることが、仕事と子育ての両立に必要な要素であるため、修正します。</p> <p>⑤ご意見を踏まえ修正します。また、多様な働き方の実現については市内企業等との連携だけでは難しく、市としては、まず、多様な保育サービスの提供をしていくことに力を入れていきたいと考えます。</p>
1 2	野澤	<p>①(施策1-1「指標」に関して)妊婦が町田を選んで出産したことは0歳児の転入で把握できるのか。そうでなければ妊婦が町田で出産し、そのまま子育てすることを把握する指標が欲しいと考える。</p> <p>②(施策1-2「指標」に関して)「育休の取得率」追加。</p>	<p>①他の要因もあるかと思いますが、「0歳から14歳の転入超過数」をもって町田市を選んだと言えると考えられます。</p> <p>②「育休の取得率」を把握することができないため、1-2の指標への追加は難しいと考えられます。</p>

■政策2

番号	委員	意見	対応の方向
長期計画審議会			
1 3	三輪	施策2-1光るものを持つ子ども、光るもののニュアンスはわかるが、決定か。	(13~14について) ご意見を踏まえ施策名を修正します。
1 4	三輪	それに伴った後ろにぶらさがった言葉の	

		<p>中で、子どもの参画などは出ているが、主体性を培うとか、自ら動いていくとか、そういう意味合いの方がいいのでは。</p> <p>光るものが非常に抽象的で、他の3つに比べるとぼんやりしているが意図があるのか。</p>	
15	三輪	<p>「主体性」というのがいいのか、「主体的学び」という表現がいいのかがわからないが、施策2-1には絡んでくると思う。</p> <p>施策2-2も学ぶだけでなく、幼少期には遊びこむとか、自分で徹底的に遊ぶことと学ぶことが一致していると思うが、学童期だけでなければ、「遊び学ぶ意欲」という表現でもよいのでは。</p>	<p>ご意見を踏まえ施策名を検討します。</p>
16	大野	<p>施策2-3の「教育環境を充実させる」に関して、全国で遠隔教育が注目され、実践される中、町田市は学校のICT環境を強化する政策を実行している。今後は、いかに活用して効果的な教育を行うかを指標の中に入れるのがいいのでは。文言としては、遠隔教育の充実であったり、ICTを活用した教育の向上であったりする。施策のもう一つの効果は、グローバル化に通じるところもあるので、離れた地域の学校、海外の学校との交流も割と容易に実現可能になる。具体的な文言は浮かんでいないが意見として。</p>	<p>ICTを活用した教育においては、ICT機器を使用して授業を行っている割合を、施策2-2の取り組みレベルの指標として設定していきます。</p>
17	会長	<p>ICTは現在進行形なので、計画よりも実行も考えなければならない。</p> <p>小中高の学生に対してノートPCが行き渡らない問題がある。中古PCなど集めることもできるが、どこで議論するかという話にはなるが。</p> <p>この中の状況だと政策として進めていかなければならないまったなしの状況も出てくる。</p>	<p>ご意見は今後の取組や、実行計画の検討の参考とさせていただきます。</p>
18	芳賀	<p>・施策2-2「学ぶ意欲を育てる」中で、なりたい姿は「夢や志を持ち、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができる」となっているが、取組例の中から</p>	<p>・文部科学省が作成している学習指導要領解説「総則編」の中では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進として示されてい</p>

		<p>は、それにつながるが、いかがか。対話形式の学習の機会を増やすなど、少しなりたいたい姿に近づけるような取組を考えていただきたい。</p> <p>・先生等との双方向の授業を展開する中で、自らの夢が決まっていくので、そういう文言があってもいいのでは。</p>	<p>ます。町田市教育プラン2019-2023で示されている教育目標にある「夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる」を実現するためにも、各学校は学習指導要領の内容を十分に踏まえた指導を実施することが前提であり、本政策の実現の意図にも含まれていると考えます。そのため、より一層の施策推進に向けて、児童・生徒の学力の向上の項目に文言を追加します。</p>
審議会後の追加意見			
19	野澤	<p>①(施策2-1「施策名」に関して)「光るもの」という言葉は、「特徴を持つ」「特定の能力がある」という言葉をイメージさせるので、なりたいたい姿と必ずしも一致しない。町田から、そのような「とがった人材」を輩出するという方向性の政策は必要だと考える。</p> <p>②(施策2-4「指標」に関して)「学校と地域との連携」という要素が重要で、そのための指標が必要ではないかと考える。</p>	<p>①ご意見を踏まえ施策名を修正します。</p> <p>②取り組みレベルで、「地域住民や保護者の意識向上」を指標として検討していきます。</p>
20	芳賀	<p>(施策2-2「各施策の中で実施していく取組例」に関して)児童・生徒の学ぶ意欲や能動的な能力を引き出す教育として、「アクティブラーニング」や「双方向教育(授業)」などのキーワードを入れるのも一案かと思う。</p>	<p>キーワードの意味する内容は取組の中に含んでいますが、町田市教育プラン等との整合をとった表現・表記とさせていただいているため、新たなキーワードを入れることは難しいと考えます。</p>
21	大野	<p>①(施策2-2「各施策の中で実施していく取組例」に関して)「<u>小・中学校の</u>児童・生徒の学力・体力向上や将来に向けたキャリア形成のための教育など。」下線部追加。</p> <p>②「遠隔教育を通して国内遠方の小・中学校や海外の学校(例えばIBスクール)との交流を行い、異なる価値観に触れ学ぶ機会を創出する。」追加。</p> <p>③(施策2-3「指標」に関して)「・遠隔教育を行うためのICT環境充実、・遠隔</p>	<p>①町田市立学校は小学校及び中学校の2校種のみであること、児童は小学校、生徒は中学校のそれぞれの子どもたちを指す言葉であることから、現状の表記のままでよいと考えます。</p> <p>②遠方の学校と交流し、異なる価値観に触れ学ぶ機会を創出することについては、現在町田市が取り組んでいる先進的なICT教育環境の整備と併せて、様々な教科や放課後英語教室等に</p>

		<p>教育の実施率向上、・遠隔教育の質向上」追加。</p> <p>④(施策2-2「各施策の中で実施していく取組例」に関して)「・遠隔教育を行うためのシステム(プラットフォーム)導入」、「遠隔教育に関する教員研修の実施」、「遠隔授業と対面授業を並行して行う技術の向上(教員研修)」追加。</p>	<p>おいて行われていくべきものと考えますが、文言の追加についてはまちづくり基本目標全体での統一感や町田市教育プランとの整合から、難しいと考えます。</p> <p>③④対面授業の中でのICT活用をより活発に行うための指導技術向上を目的とした研修を計画しています。対面授業でのICT活用が、そのまま遠隔教育にも生かしていくことができると考えますが、町田市教育プランとの整合等から、遠隔教育を特出しての追記は難しいと考えます。</p>
22	小林	<p>①(施策2-1「施策名」に関して)「光るものを持つ子どもを育てる」→「子どもの持つ潜在的な力を引き出し育てる」</p> <p>②(施策2-1「指標」に関して)「・子どもが多様な経験ができる機会が提供されていると思う市民の割合」追加。</p> <p>③(施策2-1「施策実現によってなりたい姿」に関して)・家庭の事情に関係なく、子どもが自らの意志で放課後や<u>週末・長期休暇中の居場所(社会的に認知されている言葉ですが、居場所がある・ないといった場面使われる印象が強い。自らの意志で、とあるが、用いるのに適当か?「活動の場」「生活の場」「豊かに過ごせる場」</u>などかを選択できる。</p> <p>④(施策2-2「施策名」に関して)「学ぶ意欲や<u>挑戦する力</u>を育てる」下線部追加。</p> <p>⑤(施策2-2「指標」に関して)全国体力運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の町田市の平均値→<u>学ぶ意欲と運動能力との関係が今一つ曖昧なため、挑戦する力を左記に入れてみた。</u></p> <p>⑥(施策2-3「施策実現によってなりたい姿」に関して)「・子どもがそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができている。」追加。</p>	<p>①ご意見を踏まえ施策名を修正します。</p> <p>②ご意見を踏まえ指標を検討します。</p> <p>③ご意見を踏まえ修正します。</p> <p>④⑤町田市教育プランの基本方針Iとして学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばすと記載しています。「生きる力」が包括的なものであり、整合をとる上で、ここで挑戦する力を追記することは難しいと考えます。</p> <p>⑥2-3のなりたい姿について、「子どもがそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができている」を追記します。</p> <p>⑦まちづくり基本目標全体での統一感や町田市教育プランとの整合から追記は難しいと考えます。</p> <p>⑧⑨下記の理由から、施策2-4で実施を予定していた取組「地域における学習の場の提供」は施策4-1に移動します。</p> <p>・生涯学習活動推進のための施設開放は、施設開放することにより学習活動をしやすくする取組であり、『生涯にわたる学習の「しやすさ」を支援する』施策に関する取組として位置づけられる。</p>

	<p>⑦(施策2-3「各施策の中で実施していく取組例」に関して)「<u>新たな社会のニーズに対応しうる質の高い教育環境の構築</u>に向けた学校の整備や特別支援教室・適応指導教室の充実など。」下線部追加。</p> <p>⑧(施策2-4「施策名」に関して)誰の教育力なのか、子どもの育ちを支える家庭・地域の教育力?教育力とは学びの場の数を高めることに加え学びの場の質も含まれるが、曖昧な感がある。また、家庭の教育力は、家庭そのものの子育てにおける教育力も含まれる。」</p> <p>⑨(施策2-4「指標」に関して)「・学びの場の増加数、種類の増加数」追加。</p>	<p>また、指標については、正確な増減を把握することができないため、指標への追加は難しいと考えます。</p>
<p>10 (再掲)</p>	<p>三輪</p> <p>①市議からの意見で。女性の就業率が上がると出生率が下がる、というのは短絡的な意見である。「出生率」に着眼するならば、町田市に定住し2人目を産みたいと思わせるまち、となるべきであり、そのためには、多様な働き方、多様な預かり方(社会的サポート)が大前提になるため、その前提での基本構想・基本計画となるべきと考える。</p> <p>②「1赤ちゃんに選ばれるまちになる」「2未来を生きる力を育み合うまちになる」って、いずれも、こどもの主体性を想像させるすてきなキャッチだと思っています。ただそのイメージと、施策名や施策があまりにも従来の並びになっているのが気になります。</p> <p>③1-2には、上記市議からの意見に返したようななりたい姿を入れてもらうのがよいかと思います。</p> <p>④2-1や2-4のいずれかには、ぜひ「こどもの主体性を育む社会づくり」といった観点を強調して入れてほしいです。</p>	<p>No.10のとおり</p>

■政策3

番号	委員	意見	対応の方向
長期計画審議会			
23	芳賀	この部分は、青壮年期にあてはまる施策だと思うが、中年期を別に分けることに違和感がある。「町田ならではの地域資源をいかす」や「働きやすい環境をつくる」ことにおいても、中年期や最近では70歳まで働く人もいるので、何もこの年齢に紐づけるのに違和感があるがどうか。	それぞれの年代がいきいきと輝けるよう、施策の切り口をライフステージごとに見せてはいますが、他の年代にもあてはまる内容であることを、体系図や文章で示していきたいと考えます。
24	深澤	コロナ禍の中で、勤務形態もテレワークが推奨されて、アフターコロナになっても続いて行くと思う。町田市は都心部との関係の中でテレワークやりながら出社するのに適した地であると思うので、それを推進していった方がいいのかなと思う。そんな文章がどこかに入った方がいい。	ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。
25	深澤	テレワークと具体的に書かなくてもいいが、働く方がこれから変わっていくのを受け入れようというか、そういうことを推奨する町田っていうのが提言されればありがたい。	施策3-1の「施策実現によってなりたい姿」において、「個人のライフスタイルに合わせた多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれるまちになっています。」としており、テレワークも含め、多様な働き方ができるまちを目指すことを掲げております。
審議会後の追加意見			
26	野澤	①(施策3-1「指標」に関して) 今後はフリーランスなど自由な働き方をする方にも選ばれることも重要ではないか。 ②指標として「事業者数」の増加も必要か。 ③インバウンド、アウトバウンドそのものを指標化できないか。外国との取引。	①施策3-1の「施策実現によってなりたい姿」において、「個人のライフスタイルに合わせた多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれるまちになっています。」としており、フリーランスも含め、多様な働き方ができるまちを目指すことを掲げております。 ②事業者数の増加について、現状では毎年、新規事業所が立ち上がる一方で、それを上回る事業所が廃業してい

			<p>ます。市内産業の活力を維持・向上させるためには、事業者が事業を継続し、次世代に事業をつないでいくことが重要であるため、「町田市産業振興計画19-28」で掲げる指標「事業所数の維持」を取り組みレベルの指標として設定したいと考えております。</p> <p>③外国との取引が増え、中小企業者の事業が拡大することは、市内経済の活性化を測る指標になりますが、国内外の取引に関わらず、「町田市産業振興計画19-28」で掲げる指標「1事業所あたりの付加価値額の増加」を取り組みレベルの指標として設定したいと考えております。</p>
27	深澤	<p>(施策3-1「施策実現によってなりたい姿」に関して)</p> <p>※意見項目(起業、創業について)</p> <p>①「・町田市が多摩地域のなかで、起業・創業を目指すヒトにとって、もっとも時代のニーズに沿った「支援拠点地域」であると呼ばれ、多くのヒトからの支持が得られる街になっている。」追加。</p> <p>②「・意欲ある高齢者の就労機会とともに、退職後も自らの知識・経験・ノウハウを活かし意欲をもった企業等OB人材と市内事業者とのマッチングが創出されている。」追加。</p>	<p>①施策3-1の「施策実現によってなりたい姿」において、「起業・創業がしやすい風土が根付き」や、「ビジネスに適した環境として、多くの事業者からも選ばれる」という言葉で同様の意味を表現しております。</p> <p>町田市は近隣市と比較しても開業率が高く、今後更に、多摩地域の中で、最初の一步を踏み出す場所として選ばれるまちを目指していきたいと考えております。</p> <p>②施策3-1の「施策実現によってなりたい姿」において、「個人のライフスタイルに合わせた多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれるまちになっています。」としており、多様な世代の多様な働き方ができるまちを目指すことを掲げております。</p>

■政策 4

番号	委員	意見	対応の方向
長期計画審議会			
28	大野	4-1で生涯学習をうたっている中で、指標になるのか取組例になるのかわからないが、町田は大学が非常に多いのが一つの特徴なので、大学との連携をうたっておくべきでは。横浜市青葉区では本学も参加しているが、6大学による市民講座を毎年開催しているなど、そのようなものをイメージしている。	大学の他にも関係機関との連携があることから、「関係機関との連携」に大学との連携も含まれます。ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。
審会後の意見			
29	大野	①（施策4-1「指標」に関して）「・連携する大学数」追加。 ②（施策4-1「各施策の中で実施していく取組例」に関して）「・連携する大学において市民講座を定期的を開催する。」追加。	①②連携する大学の数を直接指標にはしていませんが、大学と連携して実施した事業なども、実施事業の件数等には含めております。
30	小林	（施策4-1「施策名」に関して）「生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する」2-4との整合性？	再考の結果、施策2-4の取組「家庭・地域での生涯学習支援」の内容は施策4-1に含めることとしました。 ・施設の開放可能な場所を活用することは学習活動をしやすくする取組であり、『生涯にわたる学習の「しやすさ」を支援する』施策4-1に位置づけられるためです。

■政策 5

委員	委員	意見	対応の方向
長期計画審議会			
31	芳賀	取組例のところで、「生きがいくくり」はなかなか難しいけれども、高齢者の役割づくり、役割の見直しを行うなどの文言が入ると、そのことが生きがいという形につながりやすくなるのではないか。もちろん健	（31～34について） 施策実現によってなりたい姿に「地域の一員として」を追加し、取組名に「社会参加」という言葉を入れることで、高齢者に地域での役割が期待されて

		康もそうだが、高齢期は役割がなくなるステージでもある。それまでは、社会からの役割を期待されて暮らしているが、65歳過ぎると定年ということで大きな役割を失うのが一例。仕事以外の面でも役割を失うことにつながる時期でもある。なので、役割を工夫されるといいのでは。	いることを表現しています。
32	会長	高齢者の中でも定年が70という話もそろそろ出てくる。少子高齢化で働き手の確保が必要な中で、働ける人は働く環境づくりが必要になってくると思うがいかがか。	
33	芳賀	働くことは社会から期待された役割。市の地域社会について、働けるうちは働くような役割を期待する雰囲気を作っていくことが大事。老年学ではエイジズムという発想があるが、やれることはやる、本人が希望する役割を行政や地域が支援することが大事。	
34	会長	そこを強調して加えることでいいか。	
審議会後の追加意見			
35	芳賀	(施策5-1「施策実現によってなりたい姿」に関して) 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続け「られ←削除？」ることができる。	「いきいきと暮らすことができます」に修正します。
36	芳賀	(施策5-1「各施策の中で実施していく取組例」に関して) 例えば、高齢者の <u>役割</u> 遂行(役割を担えるような環境づくり)と <u>社会参加</u> の推進を通じたいきがい・健康づくり支援など。のように、下線部に示すキーワードを入れて取組例を示すと”いきいきと暮らせる環境づくり”の幅が広がると思います。	No.31のとおり

■政策 6

番号	委員	質問等	対応の方向
長期計画審議会			
37	安達	指標に、「町内会・自治会等の地域活動に参加している市民の割合」と書いてあるが、深刻な問題だと位置付けている。昨年4月25日に市の委託のサポートオフィスなどもできているが、そちらとも今後話し合いの場を設けて、前向きに取り組んでいきたい。この場で委員の皆さんから出していれば、私なりに受け止めて、これから先の活動の一環として提案していきたい。	市として、町内会・自治会等の地域活動に参加する市民が増えていくような取組を今後も検討していく必要があると考えます。
38	小野	つながりというと年齢には関係ないと思う。若い人と高齢者がつながるとか、縦横網の目のようにつながることも考えないといけない。人と人とのつながりを広げていくことが大事ではないかと思っている。前の豊かさにもつながること。豊かさは自己が豊かになるということで、つながりと豊かさはつながっていると思う。	つながりについては、「なりたいまちの姿3」にもお示ししており、ご意見のとおり、今後も重視していくことであると考えております。
審議会後の追加意見			
39	野澤	(施策6-2に関して) SDGsの活用を検討してみたいか。	SDGsについては、ビジョンの内容との関連づけを整理する方向で活用します。
40	深澤	(施策6-1「施策実現によってなりたい姿」に関して) ※意見項目(商店会との交流) 「地域の商店会と市民の交流の場が失われることなく、地域商店会による新たな市民サービスの環境が整備され、サービスが受けられるようになるとともに賑わい、そして市民と商店会の交流が盛んとなっている。」追加。	ご意見の内容は「施策実現によってなりたい姿」に含まれており、まちづくり基本目標全体での統一感を意識して、このような表現・表記でお示しさせていただきました。

■政策 7

番号	委員	質問等	対応の方向
長期計画審議会			
4 1	小林	テーマにするのは大事だが、どうやっていくのかというところの施策との結びつき、取組例のところを具体化するとより現実味を帯びてくる。内容はまさしくこうだと思ふ。 インクルーシブな町田市になるために、実際どうやっていくのかを、具体的に施策として出せばいい。	ご意見を踏まえ、取組例の示し方について留意していきたいと考えます。
4 2	三輪	「文化芸術に親しめる～」がそのままに入っている。4-2にスポーツがあるが、自分の中では文化とスポーツが絡むものが、2つに分かれている印象があるが、これは町田のイメージの中では普通なのか。	(4 2～4 3について) 今回、市民との協働検討やまちづくり基本目標の体系案の検討の中で整理していった結果、このような見せ方になりました。ご意見については今後の検討の参考とさせていただきます。
4 3	三輪	2次元のマトリクスにすると、どこに入れるかとなるが、資料4の中ではスポーツと芸術文化は割と目的によってはそれぞれのところに収まっていく、2重カウントする内容でもあるので、目標と合わせて言葉を変えたりしながら2回くらい出てきてもいいのかなと思う。	
審議会後の追加意見			
4 4	野澤	(施策7-1「指標」に関して) 外国人の住みやすい、暮らしやすいまちづくりという視点も必要ではないか。外国人居住率、来訪率なども指標としていかがか。	外国人の居住は増えていますが、市での人口割合が1%程度であり、現段階では、指標とすることは難しいと考えます。
4 5	桜本	(施策7-1「施策実現によってなりたい姿」の7つ目に関して)「放っというて」→「放っておいて」。	表現を修正します。
4 6	小林	・(施策7-2「施策名」に関して)「文化芸術・スポーツ等に親しめる環境・機会を充実させる」下線部追加。 ・(政策7-2「施策実現によってなりたい	・今回の計画策定にあたっては、ライフステージごとに意識する政策を特出ししているため、スポーツに関しては政策4で記載します。

		い姿」に関して)「・いつでも、どこでも、誰でも、あらゆる文化や <u>芸術、スポーツ等</u> を楽しむまちになっている。」下線部追加。	
--	--	--	--

■政策 8

番号	委員	質問等	回答
長期計画審議会			
47	深澤	町田市は商業の街なので、買い物を楽しむという文言が入ってくるとありがたい。どこかに入っている前提なのか。	買い物も含めた多様なまちの使い方を楽しめるような、環境整備の取組を検討していきます。
48	三輪	<p>・オープンスペース、パブリックスペースの話は出ているが、指標の中では満足度や滞在など実働の部分しかない。例えば、緑地率や一人当たり公園面積など、データベースとしてはハード的な指標で、それが100%以上稼働など、空間担保と稼働といったイメージで指標立てるのがいいのでは。</p> <p>・昨今のコロナ禍の中で、国交省が道路や公園を賑わいに合わせて規制緩和していく動きが出ているので、歩行者天国とは全然違って、日常性の賑わいを試行する社会実験などをまちなかで起こしていくのも一つの手。実験して正常化することも、中心部や郊外の駅前などではあり得る。ニュアンスとしては、取組例やなりたい姿に意欲的に書いていくのがいいのでは。</p>	<p>・オープンスペース、パブリックスペースの量を増やしていく取組ではなく、今あるものをより活用していく取組を想定しているため、活用の度合いを図る指標を検討していきます。</p> <p>・中心市街地の道路(原町田大通りなど)や大規模公園(芹が谷・薬師池など)で、実験的な取組を実施しており、長期計画に記載する取組の中でも検討していきます。</p>
49	小林	8-2のなりたい姿に「気軽にやりたいことにアクセスできる環境」とあるが、ライフスタイルに合わせてというのもあるので、もう少しアクセスも、物理的にアクセスというところでの、例えばオープンスペースやパブリックスペースのユニバーサルデザイン化だとか、都市づくりなので、そういうところを文言に入れていってもいいのでは。	物理的な意味も含めて広い意味で、「気軽にやりたいことにアクセスできる環境」をつくる取組を検討していきます。
審議会後の追加意見			

50	野澤	施策ごとの区別が曖昧だと感じた。	「施策実現によってなりたい姿」の項目で区別出来るように書き分けを行い、曖昧さをなくしていきます。
51	深澤	(政策8「施策実現によってなりたい姿」に関して) ※意見項目(中心商店街の賑わい) 「魅力あふれる中心商店街(市街地)として、個性溢れる魅力的な店舗・空間が増え、更に自然豊かな空間(芹が谷公園)が文化芸術拠点として整備され、中心市街地のまち全体の回遊性が向上し、来街者がゆっくり過ごせる街となっている。」追加。	中心市街地に特化した施策ではないことから、市全体が「思わず出歩きたくなるまちになる」という観点で、なりたい姿を検討します。
52	小林	(施策8-1「指標」に関して)・公共交通網の拡充、・バリアフリー・ユニバーサル化を指標があれば。	物理的な意味も含めて広い意味で、「気軽にやりたいことにアクセスできる環境」としているの、複合的にアクセス性を測れる指標を検討します。

■政策9

番号	委員	質問等	回答
長期計画審議会			
53	三輪	市民の健康を守ることは大きいのと、それに関連して災害だけでなく安心感も含まれると理解していいか。 例えば、WHOの政府コミュニティだと、自殺率なども一つ、なるべく自死しないように見守り、支え合い、自分がちゃんとするなど、安心に絡むような指標によく使う。若者の自死率が世界でも日本はトップレベル。そういうのを含めると町田がどのくらいかわからないが、安心と地域社会のフォローみたいなものも入れるとしたらここしかないのではどうか。取り残さないというとSDGsとも絡むような気もする。	安心感に関しては、ご認識いただいているとおりです。ご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。
54	芳賀	「市民の健康を守る」というところで、取組例の「市民の健康づくりの支援」とあるが、もう少し踏み込んで、今回の政策のと	保健所策定の「まちだ健康づくり推進プラン」(2018~2023)においても、施策「健康づくり意識の向上、

		<p>ところで市民の主体的な参加が背景にあるので、自分だけが自分で健康を守るというだけでなく、市民の主体的な健康づくりの輪を支えるような、行政側の取組として主体的な活動になるような支援をしていくのが大事。市民が自ら積極的に健康づくりしていくようなまちにならないと、これからは持たない。健康づくりを支えるようなものが取組例にあるといい。</p>	<p>として健康づくり推進員に関する取組等を実施しており、既に反映済であると考えております。</p>
55	安達	<p>「自主防災組織率」のところで、だんだん厳しい状態になってきている気がする。自助、共助、公助があるが、「自助・共助・近所」を大事にして、と皆さんにお願いしている。</p> <p>町内会単位では共助だけど、近所づきあいがしっかりしていると全てがスムーズに行く。</p> <p>もう少し行政側としても、そういう視点で文言をいれてもらえるといい。</p>	<p>ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。</p>
56	小野	<p>昨日も社協の会合で少し話題になったが、9-1、9-2に関して、地域の方や市民の方が共通理解して、こういう事態になったときに、いつでも参加して協力できる体制が大事。普段から、社協だと冊子をつくって配っているが、若い方が率先してやってくれる強みを感じられた。</p> <p>普段からお互いに力を出し合ってやっていこうという意識をもってもらうことが大事。</p>	<p>ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。</p>
<p>審議会後の追加意見</p>			
57	芳賀	<p>(施策9-3「指標」に関して)「主体的に健康づくりに関わっている人の割合」追加。</p>	<p>現在、健康づくりに関する市民の主体的な取組に対しては、各分野や各世代に間接的に取り組んでいます。</p> <p>個々が主体的に行っている健康づくりは、様々なものがあり、「健康づくり」をメインとした、市民の参加率を指標にすることは、現実的に図りにくいいため、本件には入れずに事業を行っていきたいと考えています。</p>

58	芳賀	<p>(施策9-3「各施策の中で実施していく取組例」中の「市民の健康づくり」に関して)市民が主体的に健康づくりに関わられるような支援など。(継続性のある健康的なライフスタイルの形成のためには、いかに、市民の主体性を引き出せるかが課題になっている)</p>	<p>保健所策定の「まちだ健康づくり推進プラン」(2018~2023)においても、施策「健康づくり意識の向上、として健康づくり推進員に関する取組等を実施しており、既に反映済であると考えています。</p>
----	----	---	---

2 (仮称) 行政経営基本方針について

番号	委員	質問等	回答
長期計画審議会			
59	芳賀	基本方針1は「共創で開く新たな価値創造の実現」とあるが、改革項目1-1、1-2は共創の要素が分かりづらい。改革項目1-3、1-4と順番を変えた方が、イメージしやすくなるのではないか。現状の順番で行くのであれば、共創のニュアンスを1-1、1-2に含めた書きぶりにしたほうが良い。	順番について、当初は改革項目1-3を先頭に置いていました。しかし、検討部会において、共創の上では、情報の共有や、双方向での活用がファーストステップではないかという意見があり、現状の並びとなっています。いただいたご意見を踏まえ、庁内で持ち帰って検討します。
60	大久保	改革項目1-2、テクノロジーを活用する上では、セキュリティ確保・個人情報保護に関する取り組みを追加した方がいい。	参考にさせていただきます。
61	芳賀	基本方針2「対話による、組織経営力の強化」について、誰と誰の対話なのか見えない。職員間の対話なのか、職員と市民なのか。ただ、「対話」という言葉はとても気に入った。議論や討議には勝ち負けがあるが、対話は勝ち負けがない。お互いの立場を尊重するという意味合いで使うことが多いと思うので、非常にいいキーワードである。ぜひここが強調されるような形で、説明やめざす姿に反映されると良いのでは。	町田市の行政経営のベースにある経営品質では、対話によって自己改善することを大事にしており、対話というキーワードを置きました。取組としては、職員間で対話できる組織づくりや、対話力のある人づくりを想定しています。誰と誰の対話かという点、基本的には職員間の対話と考えている。ただ、基本方針1の共創を推進するにも、多様な主体との対話が必要です。そのため、対話力を持った人を育てていこうという意図でここは入れています。
62	安達	行政においては、部署間の横のつながり、縦割り行政の打破が課題なのではないか。部署によって、一般の市民への指示が異なる場合がある。片方では、コロナ感染対策のために全てストップしているにもかかわらず、違う部署からはゴーサインが出る。すると、一般市民の人たちは迷ってしまう。このままの状態では、せっかく市民と行政との関わりが、投げやりになってしまうの	町田市の職員や組織の弱点として、横のつながりが弱いという点は、我々も大きな課題だと認識しています。〇ごと大作戦を実施していく中で、連携を心がけてやっており、今後10年間の計画の中にしっかりと盛り込んでいきたいと考えています。

		ではないかと懸念している。	
63	安達	一人ひとりの職員は、本当にすばらしい対応をしている。ただ、庁内の横のつながりが、なかなか改善されない。 改めて10年計画として盛り込んでいくのであれば、多少なりとでもそういうものを入れてほしい。	改善してまいります。
64	大久保	これからはIT社会であるため、例えば改革項目1-1がその答えの1つになるのではないかと。 1-1を基本方針2でも盛り込めば、横のつながりになるのではないかと。	参考にさせていただきます。
65	三輪	公共施設再編の推進について、再編という言葉には、統合だけではなく、空きスペースなどの利活用という発想もある。 再編の「推進」だけでなく、市有財産の有効な利活用への「検討」も含めるとよい。 例えば、遊休状態の土地については、市民農園として市民向けに借用し、地域コミュニティとしての効果を持たせる、という方法などが考えられる。 また、公共施設の維持・管理にあたっては、PFIなど民間活力を活用することも検討するとよい。	空きスペースの活用は、今後も取り組むべき視点であるため、めざす姿などに、要素を入れていきたいと考えています。 PFIや、新たな公共施設の管理の在り方についての検討は、改革項目3-2にするのか、2-1にするのかを検討し、要素を盛り込んでまいります。
66	大久保	基本方針3は財政のことを指しているのか。	基本方針3は、財政と土地・建物の市有財産の活用も含まれています。
67	大久保	公共施設再編と利活用の推進・検討のほうがいいのではないかと。	参考にさせていただきます。
審議会後の追加意見			
68	野澤	基本方針Iのめざす姿・想定内容に意見はないが、取組項目案「外部意見の活用」などを推進するための具体的施策が重要だと感じた。市民意見、外部意見を採用しやすく、実施しやすくするために具体的に行政は何をするのか。	ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。 現行計画では「市民参加型事業評価」「行政経営監理委員会」などの取組を実施しており、有識者や市民からの意見を踏まえて、事業の見直しを行っています。
69	野澤	イノベーションができる組織とは何なのか。いわゆるメンバーシップ型（人に仕事を充てる）ではなくジョブ型（仕事（プロ	ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。

		ジェクト) に人を充てる) に企業経営がシフトする中で、行政も同様の組織変革ができないか、意識しているのか、という点に気がなった。柔軟な人事、権限の委譲など。	
7 0	野澤	グローバル時代の人材育成の基本は、広い世界での経験の蓄積だと思うので、人材交流が特に重要だと考える。行政しか知らない人材では行政経営の変化はあまり期待できない。	ご意見は今後の取組や実行計画の検討の参考とさせていただきます。
7 1	芳賀	改革項目 3-3 のキーワードに「資源の有効活用の推進」を追加してはどうか。	追加しました。

以上